

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和7年2月3日（月） 14時～15時30分	開催場所	会議室（対面&オンライン）
出席委員	人数：7人 委員氏名（役職） 谷川 正芳氏（大崎上島町長） 森下 秀月氏（大崎上島商工会 事務局長） 坪谷ニューエル郁子氏（東京インターナショナルスクール 理事長）※オンライン 田頭 吉一氏（国立大学法人 長崎大学 事務局長・理事）※オンライン 草原 和博氏（広島大学大学院教育学研究科 教授） 福嶋 一彦（広島叡智学園中学校・高等学校 校長）		
会議の概要	<p>○ 令和6年度自己評価シート（年度末評価）に基づく下半期の取組の説明 本校から、学校経営計画の項目に従い、国際バカロレア、進路指導、寮生活など、本校の令和7年度下半期の取組について説明を行った。</p> <p>○ 各委員からの発言 （主な御意見等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大崎上島町民への広報については、デジタルな手法だけでなく、アナログな手法を考えてみてもよいのではないか。 ・ 授業において、取り組む單元ごとに教員と生徒とでルーブリックを共有し、学習目標を確認していることは評価できる。 ・ 寮における特別活動の時間などで、英語に触れる時間を十分に確保してほしい。 ・ 自己評価シートにおける中期及び短期の経営目標は、漠然としたものではなく、実際に何をするのか、何ができたのかという評価のしやすい、具体的なものにすべきである。 ・ 開校からの6年間で、様々な取組によって多くの実績が積み上げられてきたように感じる。 ・ 1期生が卒業するこのタイミングで、公立のIB校としての強みを生かしながら、改めて、地域住民や卒業生とのつながりを持続できる仕組みを作っていく必要がある。 ・ 生徒の誰もがリーダーの経験をできるような機会を日頃から作っていただきたい。 <p>以上、委員から貴重な御意見等をいただいた。 本校としては、委員からの御意見等を来年度の学校運営に活かしていく所存である。</p>		